

<報道発表資料>

E-mail: t6604042@pref.saitama.lg.jp

令和3年6月24日

県立自然の博物館 企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう！」を開催します。 (同時発表 秩父記者クラブ)

県立自然の博物館では、7月3日（土曜日）から10月17日（日曜日）まで、企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう！」を開催します。

今年で認定10周年を迎えるジオパーク秩父では、約3億年の大地の営みが作り上げた岩石や地層をはじめ、それらが育んだ動植物や歴史・文化をまるごと楽しむことができます。

本展示では、ジオパーク秩父の主要な見どころを取り上げながら、現地での楽しみ方を紹介します。

1 概要

- (1) 名称 企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう！」
- (2) 開催期間 令和3年7月3日（土曜日）から10月17日（日曜日）まで
- (3) 会場 自然の博物館（秩父郡長瀬町長瀬 1417-1）
- (4) 主催 埼玉県立自然の博物館
- (5) 共催 秩父まるごとジオパーク推進協議会
- (6) 後援 NPO 法人日本ジオパークネットワーク
- (7) 料金 観覧料
一般：200円 大学生・高校生：100円
中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方（付添1名含む）は無料
- (8) 交通案内 電車 秩父鉄道「上長瀬駅」下車 徒歩5分
自動車 関越自動車道「花園IC」から国道140号を秩父方面に
約35分

2 展示概要

(1) 日本地質学発祥の地

日本の近代地質学の夜明けである明治・大正時代、秩父には多くの地質学者や学生が訪れました。長瀨の岩石や当時にゆかりのある資料を展示します。



虎岩（スティルプノメレン片岩）



日本地質学発祥の碑

(2) 秩父の大地に眠る太古の海の物語

今から約1,700万～1,500万年前、秩父には「古秩父湾」という海がありました。秩父盆地で見られる地層や、当時の海で暮らした生物の化石を紹介します。



前原の不整合



チチブホタテの化石

(3) 時代を超えた人々の聖地

秩父三社や秩父札所観音霊場など、秩父は古くから多くの人の心を惹きつけてきました。信仰の対象となった特異な地形や化石を紹介します。



札所31番観音院と岩殿沢石
(中央左下)



「天狗の爪」といわれた
カルカロドン メガロドンの歯化石

(4) 大地の営みと共に生きる

豊かな自然や独自の文化が育まれた秩父。その根幹には、この地域の岩石や地形が深く関わっています。秩父の地形・地質と生物や文化とのつながりを紹介します。



ミヤマスカシユリ（石灰岩地植生）



秩父鉦山

3 問い合わせ先

県立自然の博物館 自然担当 山岡 勇太（展示に関すること）

企画・広報担当 秋元 清二（広報に関すること）

電話：0494-66-0407 FAX：0494-69-1002

E-mail：t6604042@pref.saitama.lg.jp

ホームページ：<https://shizen.spec.ed.jp/>

（または、「自然の博物館」で検索）

公式 Twitter：https://twitter.com/saitama_shizen